詳　細

2015(H27).10

北海道大学のキャンパスイメージに関するアンケート結果

施設・環境計画室
（マスタープラン実現タスクフォース）

【アンケートの目的】

本学では，第２期中期目標・中期計画において，「世界水準の教育・研究を支える高度なキャンパス及び環境配慮型キャンパス整備を推進する」ことを目標として，『キャンパスマスタープラン2006』に基づき施設整備を推進することを掲げている。

具体的な取り組みとして，「パブリックスペース拠点の整備計画を策定する」こととしている。策定にあたっては，施設の実態調査を行うと共に，施設の利用者等の意見等を聞くことは不可欠なことであり，アンケートを通してその意識調査を行う。

また，関係者に情報を提供し，広報戦略の基礎資料のひとつとして役立てる。

※パブリックスペースとは・・学生，研究者等のための思索やリフレッシュの場であるとともに，地域社会，産業界等との接点として機能する公共性・社会性のある空間として，人間性・文化性に配慮した潤いある場。将来にわたって継承していくことが重要。

【アンケートの実施】

〇アンケートの概要と対象者

教職員，学生並びに来訪者が利用し影響の大きい道路，パブリックスペース等については，キャンパスマスタープランに基づいて，交通動線計画を整理して，中央道路，パブリックスペース及び各門の整備を推進する必要がある。

現在，来訪者がキャンパスに何を目的として訪れ，どこをどのように使っているのか，そして施設の整備では，何を期待しているのかということを調査した。

なお，本アンケートの対象者として，本学の学生は除いた。学務部が，４年に１回実施している実態調査があることから，学生の意識調査はそちらを参考とする。

アンケート協力者には，お礼として北大の名前入り“サーモラベル（室温計）”を配付した。

〇実施日等

大学の四季に応じて訪れる方々を対象として４回調査を行った。

	区分　（関連行事等）	
１回目	２６秋（イチョウ並木開放）	平成２６年１０月３０～３１日　２日間
２回目	２７冬（札幌雪祭り）	平成２７年　２月　５～　６日　２日間
３回目	２７春（構内のサクラが開花）	平成２７年　４月２８～２９日　２日間
４回目	２７夏（夏休み・観光客多数）	平成２７年　８月　６～　７日　２日間

〇調査場所

構内で観光スポットとなる場所を巡回して行った。

北１３条イチョウ並木，大野池，ポプラ並木，クラーク像，古河講堂，中央ローン及びインフォメーションセンター

〇調査体制

施設部職員が毎回２～５名で班をつくり調査を行った。

〇アンケートのねらい（[別紙１］参照）

北大のイメージと北大に何を期待しているかを探ることを目的として質問した。

［質問の内容］

①北大におこしいただいた方々はどんな方か。

男女別，年代別，どこからおこしいただいたか。

②おこしいただいた方々の来学頻度は。

どれくらいの頻度でおこしか。リピータか。

③おこしいただいた目的を聞く。

④キャンパスを全体的に見てどのような部分に価値をおいているか。

５段階評価で聞いている。評価の低いものは，改善点と見ることができる。

- 景観（キャンパスの美しさ）
- 親しみやすさ（つきあいやすい，親近感）
- 居心地の良さ（良い気分，楽しい気分でいられる）
- 構内を歩行移動（歩いて移動のしやすさ）
- 構内の緑（緑の多さ）
- 構内の案内・表示（各施設の案内，表示がわかりやすいか）
- 構内のサービス施設（食堂，案内所，休憩所，トイレ等の充実具合）

⑤北大のどの場所が印象深かったか，あるいは知っている場所等について質問している。

［門］，［歴史的建造物］，［建物等］，［自然等］に分けて聞いている。

パブリックスペース，動線計画の資料になる。

好印象とは反対に「×問題がある，印象が悪い」は改善点となる。

なぜ印象が悪いのかは，聞き取る。

⑥キャンパスのイメージアップとなる整備等を質問している。

外部の方がみて，施設，道路，その他の取組で期待していることなどを聞いている。

【まとめ】

全体としては，本学キャンパスの認知度は非常に高く，好印象を持たれており，パブリックスペース拠点の整備を推進すべきであることが再確認された。

【アンケートの結果】

アンケートの結果は，質問毎にグラフと傾向を解説している。

［別紙２］参照

調査中の様子（２６秋・イチョウ並木にて）

［別紙１］

平成２７年８月
北海道大学 施設・環境計画室

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

来訪者の方々の 北海道大学のイメージに関するアンケート

1．あなた自身のことについてお聞きします。

○男　○女　（○１０～２０才代　○３０才代　○４０才代　○５０才代　○６０才代～）

どちらからお越しですか

○札幌市内（○北区　○東区　○西区　○南区　○中央区　○豊平区　○白石区　○厚別区　○手稲区　○清田区）

○札幌近郊（　　）

○道内　（　　）

○道外　（　　）

2．北海道大学におこしいただいたのは，何度目ですか。

○はじめて

○２回目以上

どれくらいの頻度ですか

○ほぼ毎日

○１週間に１～３回程度　○１月に１～３回程度　○２～３月に１回程度　○半年に１回程度　○１年に１回程度　○それ以下

3．今回おこしいただいた目的はなんですか。

○学内に用務がある　どこに（　　）

○散策，散歩

○観光　（□イチョウ並木　□ポプラ並木　□歴史的建造物　□遺跡　□自然　□その他（　　））

○受験に向けて見学，情報収集

○その他（　　）

平成２７年８月
北海道大学 施設・環境計画室

4．北海道大学のキャンパス全体にどのようなイメージをお持ちですか。（５段階評価）

【景観】	○景観上美しい	○どちらかといえば美しい	○どちらとも言えない	○どちらかといえば美しくない	○景観上美しくない
【親しみやすさ】	○親しみやすい	○どちらかといえば親しみやすい	○どちらとも言えない	○どちらかといえば親しみにくい	○親しみにくい
【居心地の良さ】	○居心地が良い	○どちらかといえば居心地が良い	○どちらとも言えない	○どちらかといえば居心地が悪い	○居心地が悪い
【構内の(徒歩)移動】	○動きやすい	○どちらかといえば動きやすい	○どちらとも言えない	○どちらかといえば動きにくい	○動きにくい
【構内の緑】	○もっとほしい	○どちらかといえばほしい	○今の程度で良い	○どちらかといえば少なくて良い	○少ない方が良い
【構内の案内･表示】	○わかりやすい	○どちらかといえばわかりやすい	○どちらとも言えない	○どちらかといえばわかりづらい	○わかりづらい
【構内のｻｰﾋﾞｽ施設】	○多い	○どちらかといえば多い	○今の程度で良い	○どちらかといえば少ない	○少ない

その他キャンパスに求めるイメージ（　　）

5．北海道大学で印象深かったところ，またはご存じの場所等についてお聞きします。（複数回答可）○好印象　×問題がある，印象が悪い

【門】　（　）正門　（　）南門　（　）北１３条門　（　）北２０条東門　（　）北２０条西門　（　）その他（　　）

【歴史的建造物等】（　）第２農場（モデルバーン）　（　）古河講堂　（　）旧昆虫学教室　（　）旧農学校図書館　（　）農学部本館

（　）総合博物館　（　）植物園　（　）遺跡　（　）その他（　　）

【建物等】　（　）インフォメーションセンター（案内所・休憩所）　（　）学術交流会館　（　）百年記念会館　（　）クラーク会館

（　）エンレイソウ　（　）総合博物館　（　）遠友学舎　（　）農学部本館　（　）工学部　（　）医学部

（　）北キャンパス研究施設群　（　）その他（　　）

【自然等】　（　）ポプラ並木　（　）イチョウ並木　（　）大野池　（　）サクシュコトニ川　（　）花木園　（　）第１農場　（　）第２農場

（　）大学の森　（　）その他（　　）

6．今後キャンパスのイメージをアップするために必要と考えられる整備について何を望みますか，または期待しますか。（複数回答可）

【施設】　□屋外ベンチ・テーブルの設置　□インフォメーションセンター・カフェ（案内所，休憩所）の増設

【道路】　□車両の往来の少ない道路　□車両の走行禁止　□自転車の往来が少ない道路　□自転車の走行禁止

□歩道の設置　□外灯の増設　□門の改修・整備

【その他】□看板・案内板の増設　□路線バスの乗り入れ　□構内循環バスの利用

その他ご意見（　　）

・・・ご協力ありがとうございました。

［別紙２］

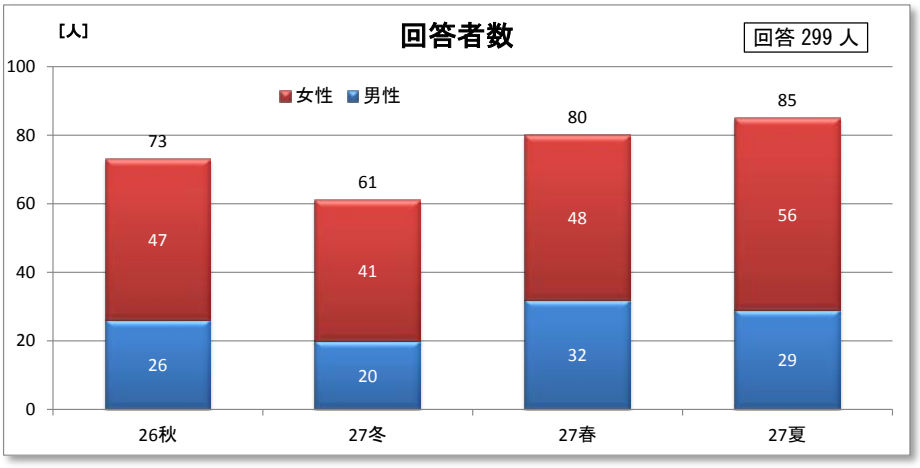
北海道大学のイメージに関するアンケート結果

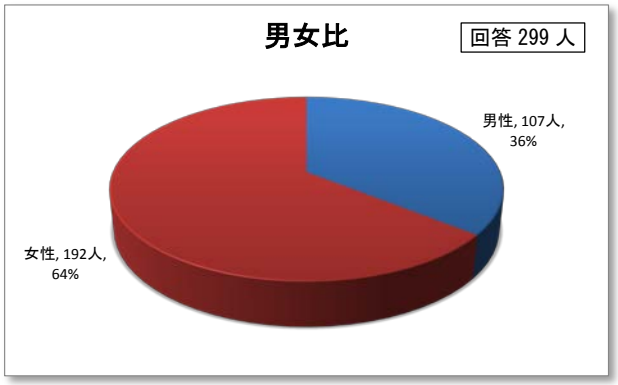
北海道大学におこしいただいた方々　（アンケートに回答いただいた方々）

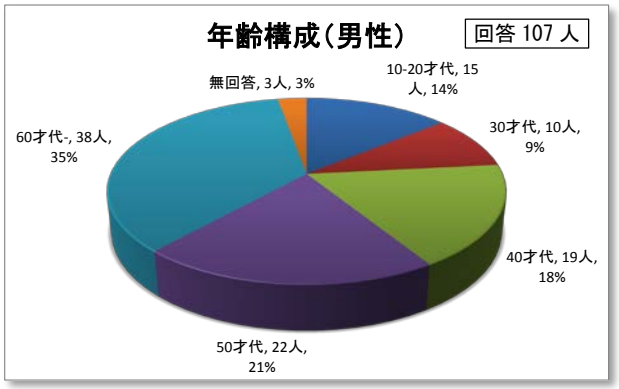
○男女別，年代別

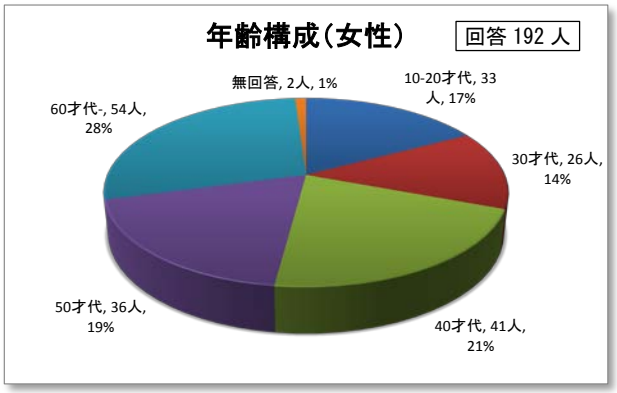
４回のアンケート実施で合計２９９名から回答をいただいた。

約４０%が男性，約６０%が女性。男女共４０才以上の年配者で約７０%を占めていた。





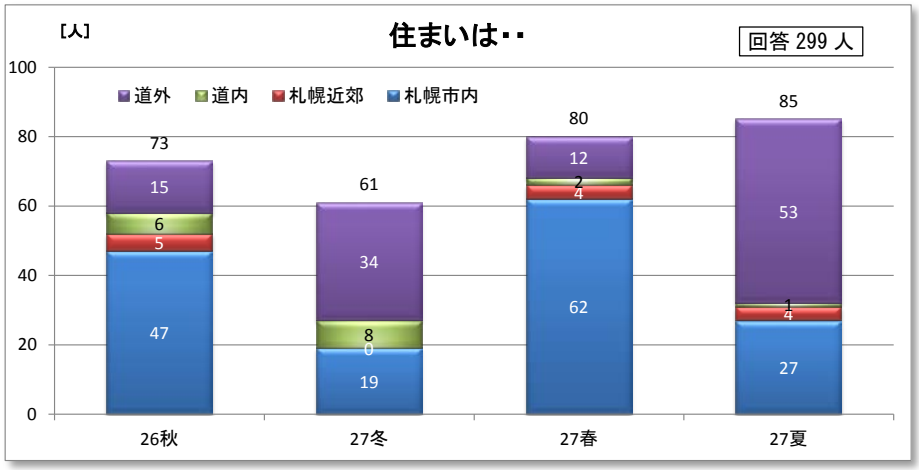


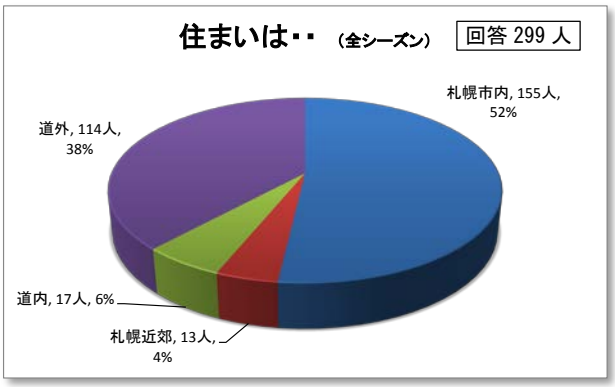


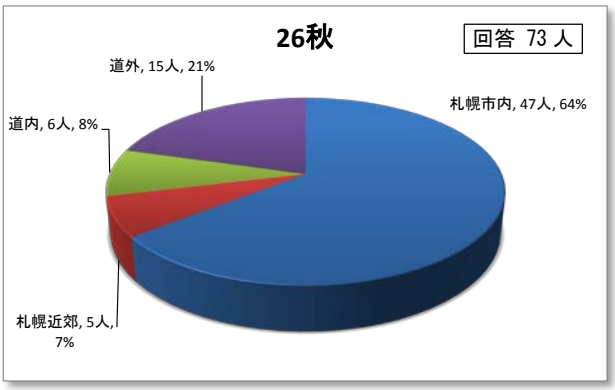
〇どこからおこしいただいたか

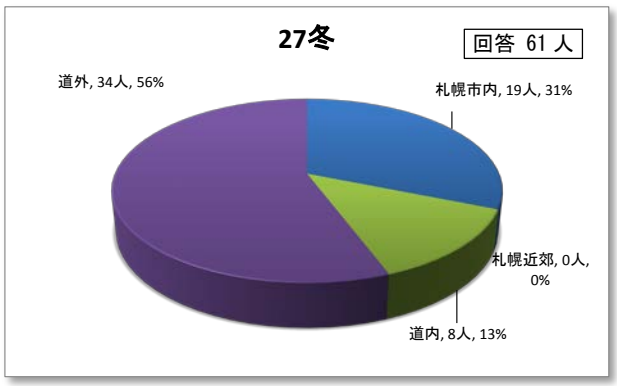
４回のアンケート実施では，約５０％が札幌市内，約４０％が道外。

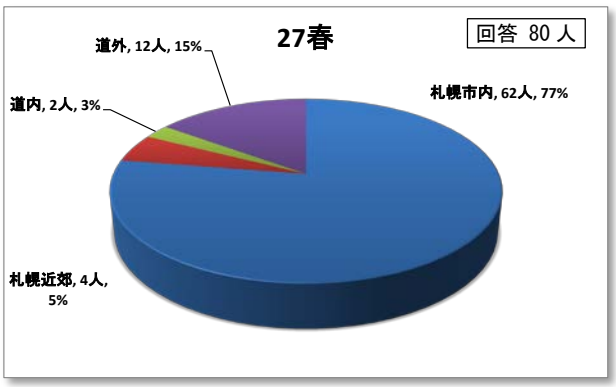
ただし，四季に応じた関連行事毎で来訪者の地域が分かれる。２６秋のイチョウ並木や２７春のサクラの開花等は，地域の事情がわかる方々が大半を占めていて約７０％が札幌市内から，２７冬の札幌雪まつりや２７夏の観光シーズンでは約６０％が道外からおこしいただいている。

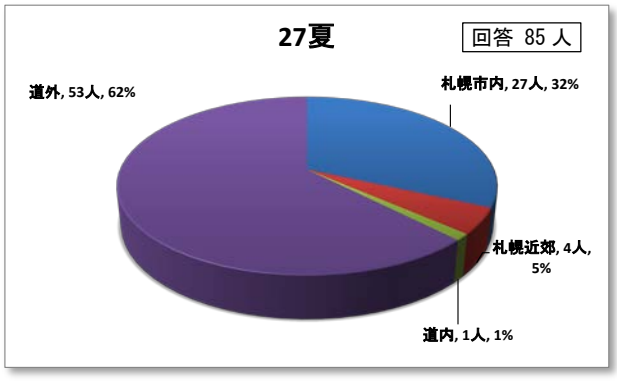










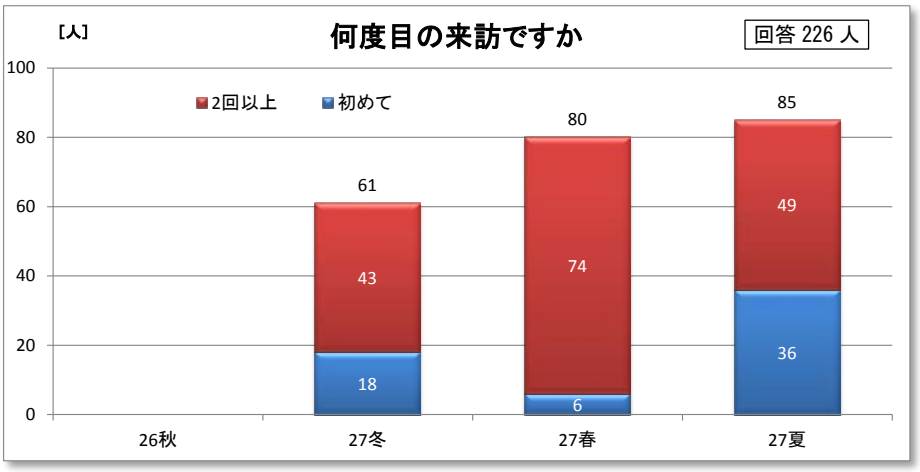


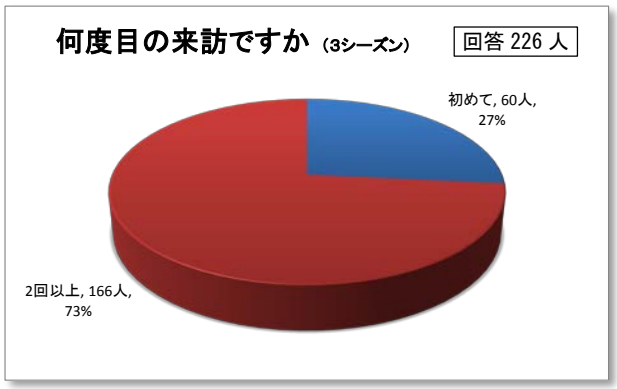
北海道大学におこしいただいたのは何度目

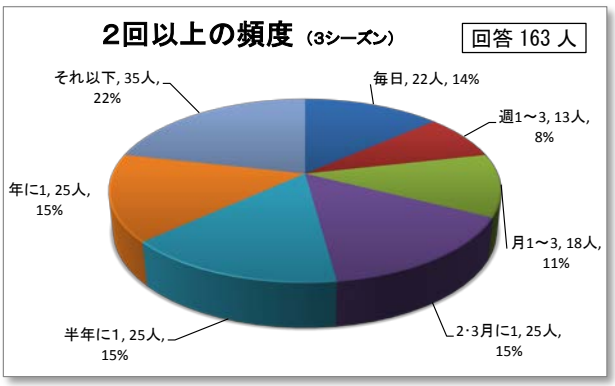
この質問は２７冬から行っている。

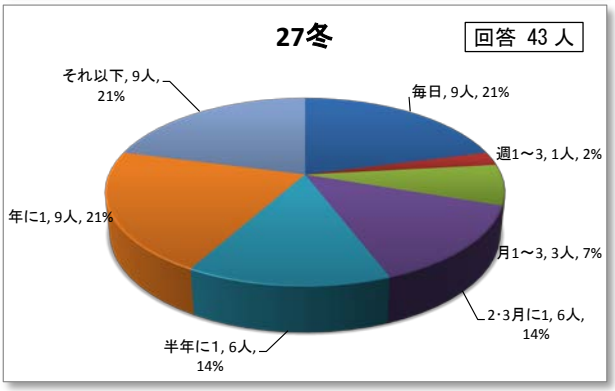
約３０%の方が初めて訪れている。この傾向は，四季に応じた関連行事毎で２７冬の札幌雪まつりや２７夏の観光シーズンで訪れた方々に顕著に現れている。

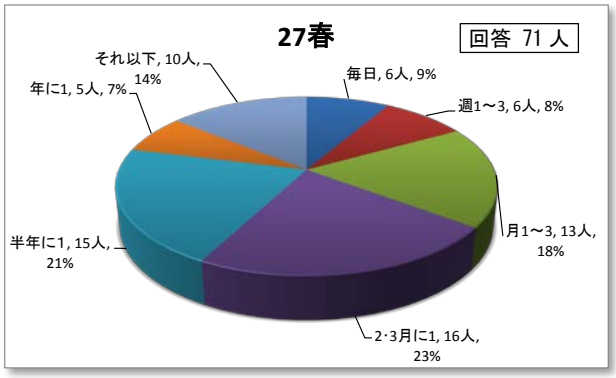
毎日あるいは１週間に１回以上は訪れている方が合わせて約２０%もいらっしゃった。

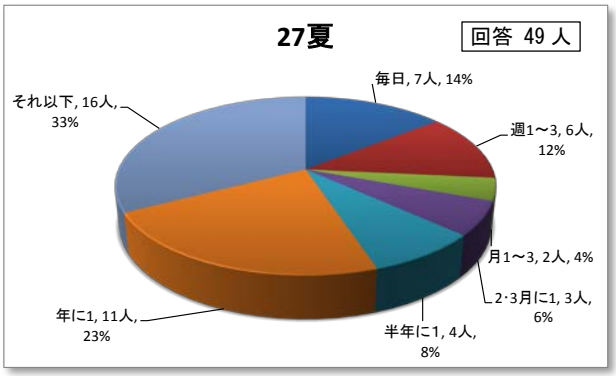








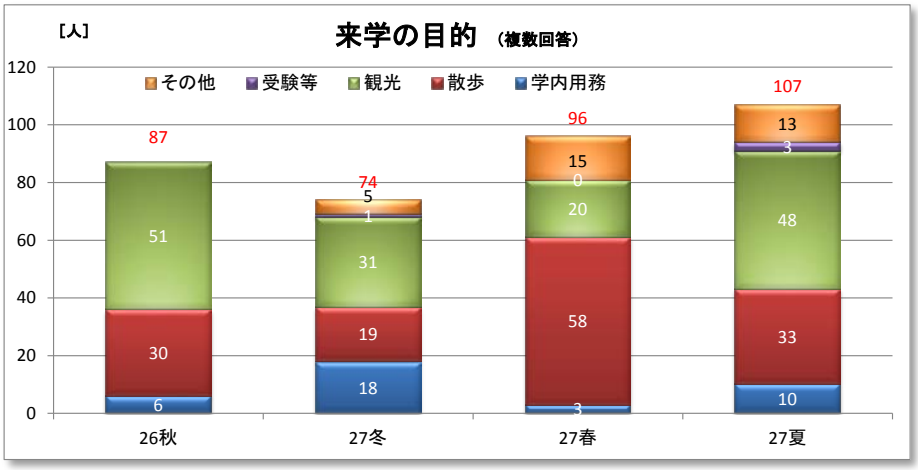


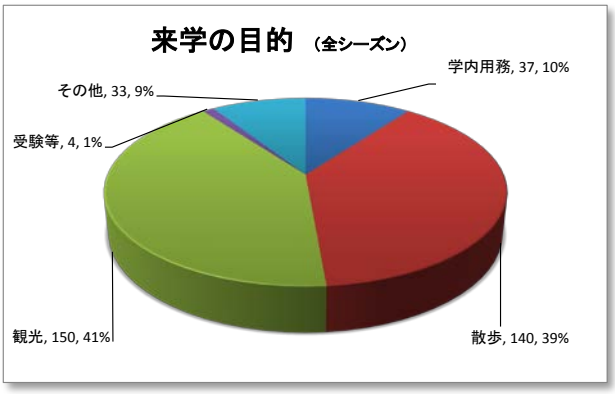


北海道大学におこしいただいた目的

４回のアンケート実施で来学の目的が，「散策」及び「観光」と答えたのは全体の約８０％を占めていた。その場所は，イチョウ並木，ポプラ並木及び歴史的建造物で大半を占めている。

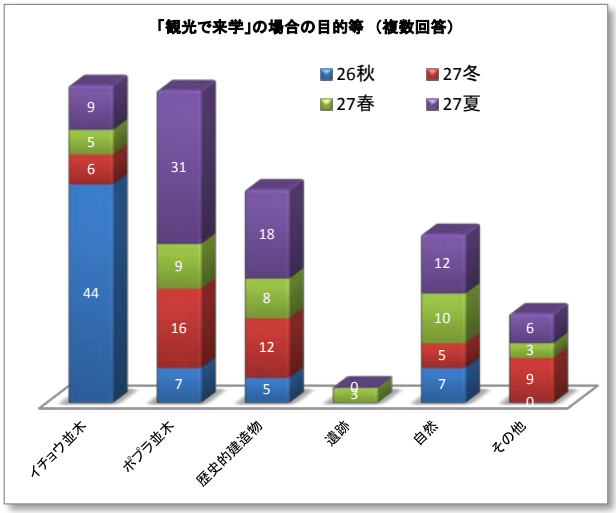
遺跡（埋蔵文化財）は，２７春から質問しているが，構内に遺跡があることを知らない人が多くみられた。

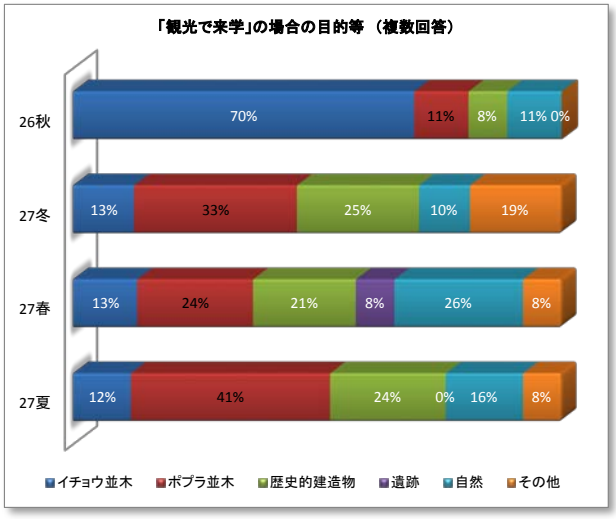




人気スポットと来訪者

	１位	多い来訪者
２６秋	イチョウ並木	市内
２７冬	ポプラ並木	道外
２７春	自然（サクラ）	市内
２７夏	ポプラ並木	道外

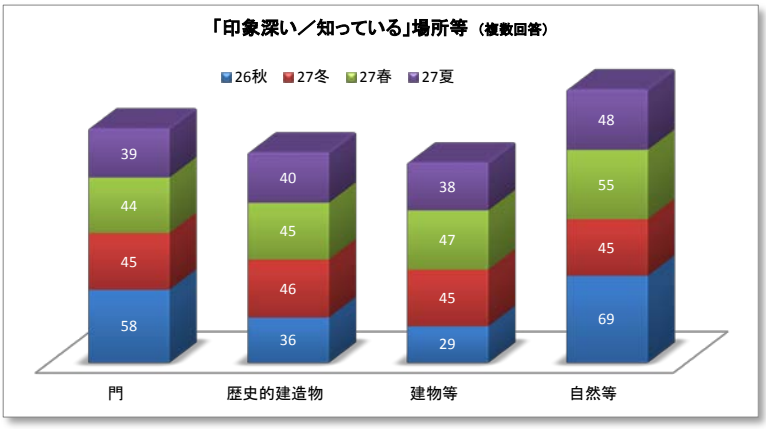


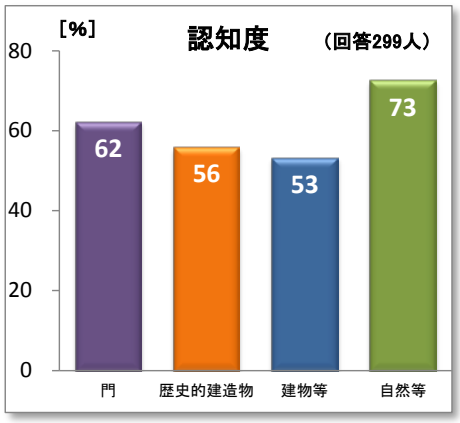


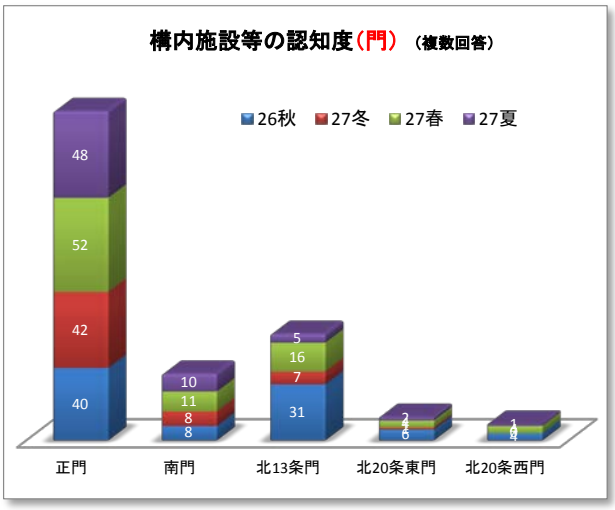
北海道大学で印象深かったところ

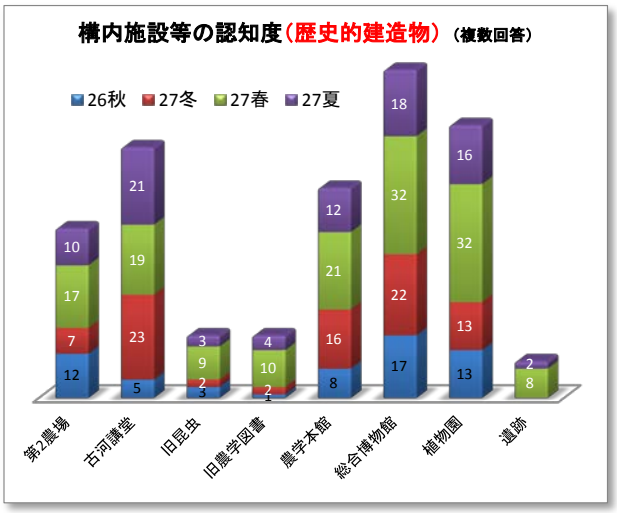
どの場所に印象深かったか，あるいは知っている場所等について，４つのカテゴリー（[門]，[歴史的建造物]，[建物等]，[自然等]）に分けて聞いているが，[自然等]や[門]について認知度が高かった。

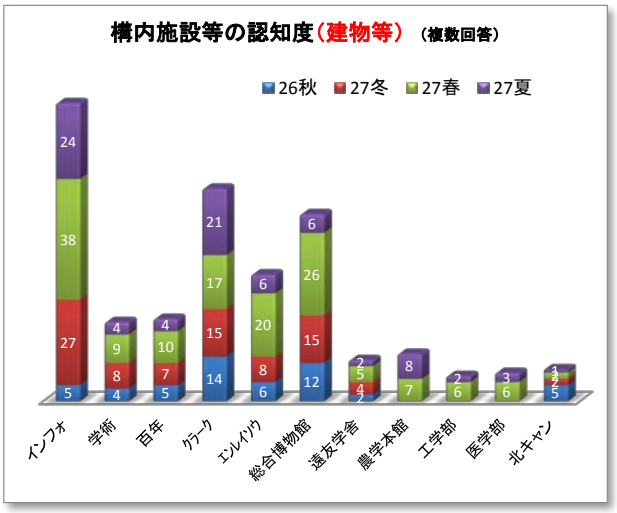
人気スポットは，正門，総合博物館や古河講堂などの歴史的建造物全般とポプラ並木，イチョウ並木。インフォメーションセンターは，情報収集及び休憩所として認知度が高かった。

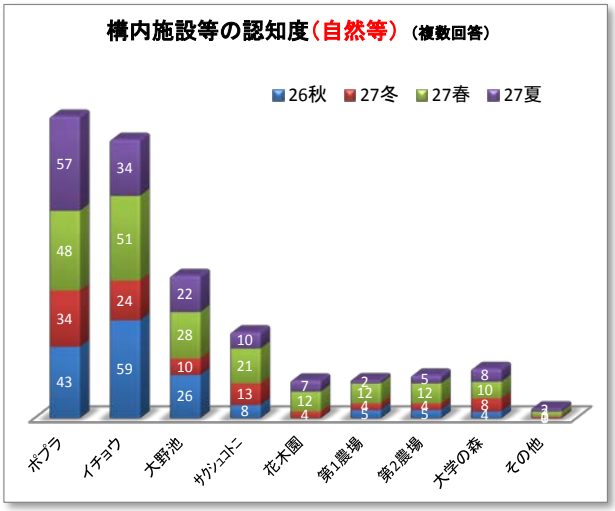












北海道大学のイメージ

この質問は２７冬から行っている。

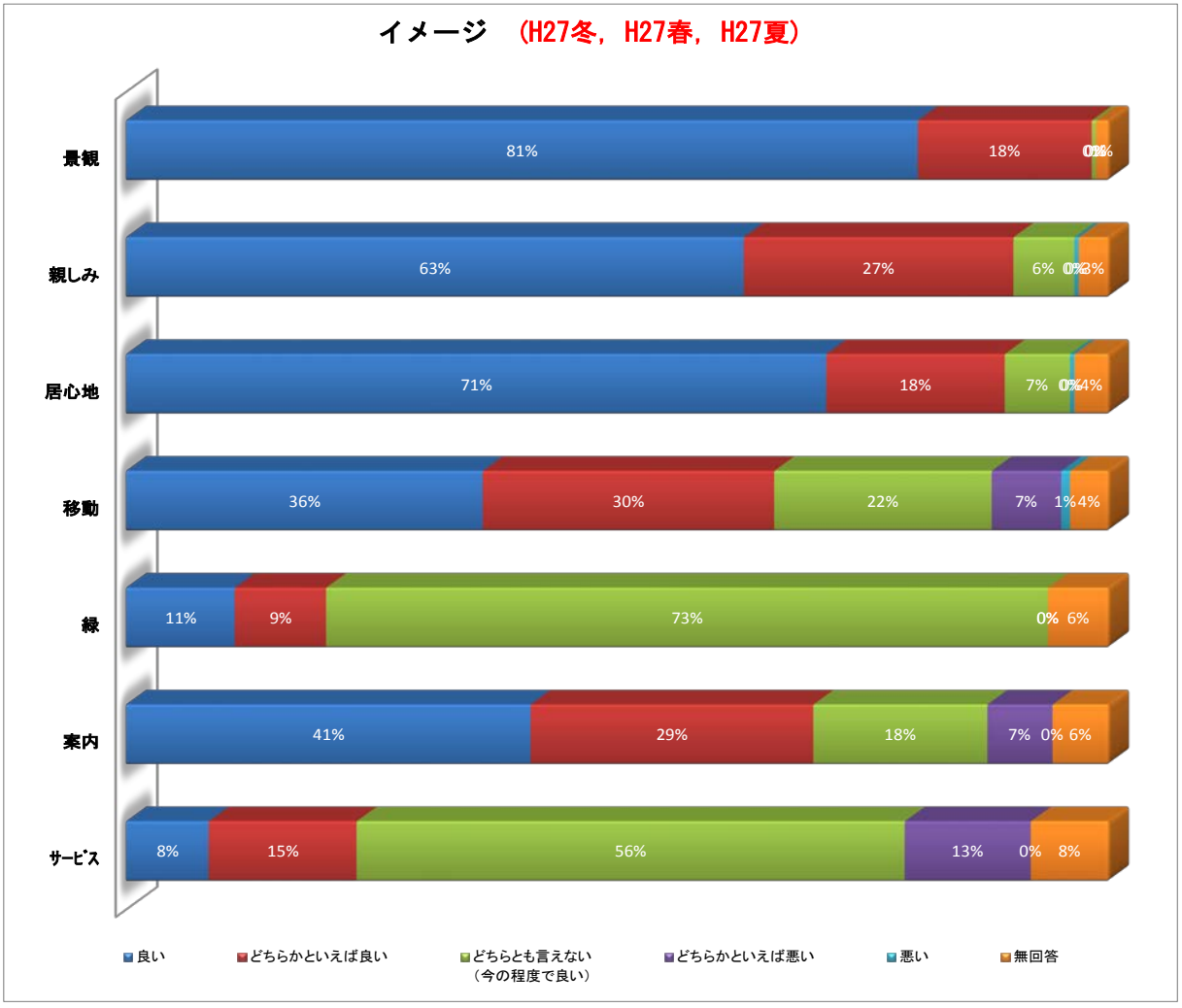
全ての項目で“好印象”であった。

“構内の緑”と“構内のサービス施設”の「どちらとも言えない」は，“今の程度で良い”という意見であり，大半を占めた。（P.3［別紙１］のアンケート項目を確認）

“構内の移動”では，構内循環バスを利用させてほしいという意見があった。

“構内の案内・表示”では，立ち入っても良い施設かわからないという意見が多数あった。

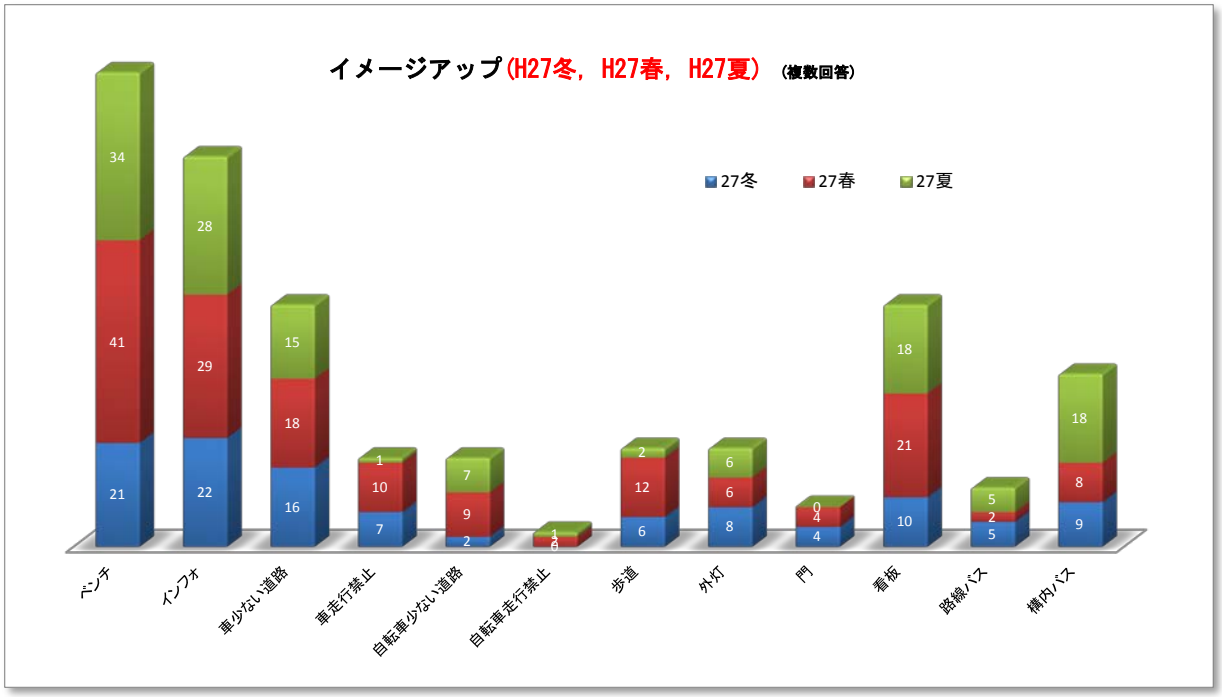
“構内のサービス施設では，休憩場所やトイレが使用できる所を望む声があった。



北海道大学のイメージアップ

この質問は２７冬から行っている。

ベンチの設置や休憩ができるインフォメーションセンターの増設という意見があった。

構内に意外と車両が多いとか，構内の雰囲気に合わせて交通量の少ない道路が良いという感想，意見があった。

わかりやすい看板の設置，循環バスの利用を望む声があった。